



# ミニ企画展 八雲の星語り

ローエルから八雲 そして抱影へ



「ばけばけ」で盛り上がっていますが、来待ストーンでも小泉八雲に関する展示を行います。

八雲が日本に興味をもったきっかけのひとつに天文学者でありアジア研究者でもあるパーシヴァル・ローエル著作『極東の魂』がありました。

小泉八雲の著作のひとつに『天の河縁起』があり、天の川や宇宙の想いを書いています。

星の和名の研究で知られている野尻抱影は、早稲田大学教授時代の八雲の教え子のひとりです。

これら三人のつながりを「星空」をテーマにご紹介します。



## 【パーシヴァル・ローエル (1855-1916)】

火星で有名な天文学者。アジア研究者としての著書も多い。冥王星の存在を予測し、冥王星の名 "Pluto" はローエルのイニシャル P.L (Percival Lowell) の意味も込められている。

## 【野尻 抱影 (1885-1977)】

古今東西の星座・星名を調べ上げ、現在日本各地のプラネタリウムなどでの星座等の解説には抱影の著作が引用されることが多い。"Pluto" の和訳「冥王星」の命名者でもある。



モニュメント・ミュージアム

# 来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE

〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1

休館日: 毎週火曜日 (祝日の場合翌平日)



☎ 0852-66-9050